

その陣地を死守してゐる、十日夜日本軍の恣人を防戦するため支那軍は死物狂ひの奮戦を行ひ南京街上には鮮血飛散し凄惨を極めた。日本側の情報によれば歴史的な南京城一番乗りの榮譽を贏ち得た部隊は脇坂大佐指揮の部隊である

三、上海十一日發

脇坂部隊成功の報が城壁外にある主力部隊に達した時數千の兵の咽喉から萬才の叫びが爆發して絶えず響く小銃、機銃轟撃砲、迫撃砲の轟きを歴した。一時間の後陣中無電器に陥り井軍司令官の敬賀の言葉を傳へて來た「余は貴下等が困難なる任事に成功せられた事を篤く賞するものである」日本側情報によれば日本軍七部隊は多數の戦車と共に北東南より市中に突撃せんとしてゐる、昨夜まで揚子江を越えて退却する道は防衛軍に残されてあつたが若し夜中に彼等が抜け出なければ日本空軍が再び活躍する本日晝の南京は正に彼等にとつて死の陥穽であらう。支那側では之以上南京を守衛する事は何等軍事の價値のない事を認めるものであるがただ支那の抗日意識の象徴として極めて重大なる意義を持つ南京の陥落は上海の陥落と同様只戦の一つの相を示すものに過ぎないと稱してゐる。

南京休戦を米國提案

同盟來電—不發表

ニューヨーク十日發

U. P 南京特派員十日午後三時發表に依れば米國大使館は日支双方に對し「戦時人道化に關する三日間の休戦案」を提議したと言はれる、右休戦案は漢口に於て特にジョンソン米國大使を通じ支那側に提示されたが、休戦案内容は右の通りと解される

一、今後三日間日支双方共戦闘行為を中止し

一、その間日本軍は城内攻撃を差控へ

一、支那軍は城内から軍隊を撤収する

一長沙支那語放送(十日)一

(熊本遞信局聽取)

二長沙

南昌ニ九日正午敵機襲來シ、安徽方面カラ一時十五分更ニ南昌ヲ襲ヒ南昌上空テ十四分間ニ亘リ戦闘シタ、爾後ノ調査ニ依レバ死傷三十餘名ヲ出シタ

三南京九日電

今朝一時三十分過ギ敵軍二千餘ハ戰車三十一輛ヲ先導トナシ、重砲五六門ヲ用ヒ淳化鎮ヨリ我ガ南京ノ東南方ニ向ケ猛攻シタ當時我城外部隊ハ増員補助ヲ待チ居リタルニ、敵ハ機會ニ乘ジ光華門ニ向ケ猛烈ニ進攻シタ、當時光華門以北ノ我守備軍ハ爾前既ニ移動シ、敵ハ江浦路ニ沿ヒ同時ニタンク隊モ進ミ來リ我守備ノ小數部隊ハ徹底的ニ激烈ナル抵抗ヲナシ全部殉死シタ、午前七時敵ハ工專ヲ破壊シ進攻、光華門ノ情勢ハ重大化シ敵メテ緊張シタ。我守備軍ハ頗ル薄弱テ敵ヲ防グニ足ラズト見ルヤ唐司令ハ某旅師ノ一部ヲ差向ケ迫撃砲、機關銃ヲ以テ猛烈ニ應戰シタ、敵ノ飛行機ハ我飛行場ヲ占領シタ午前十時過光華門外ノ敵ハ我猛攻撃ニ失敗シ少シク後退シ、戰車百餘臺ヲ捨テテ逃ゲ我軍ハ大勝ヲ博シタ、本日敵機六七臺ハ光華ノ東西兩門及我城ノ内外ニ十數彈ヲ投下シ警報ハ未ダ解カレヌ